

# かいりゅうば

Vol.158



令和7年2月  
国土交通省  
東北地方整備局  
仙台河川国道事務所  
仙台南部流域治水出張所  
岩沼市館下一丁目2-9  
TEL 0223-22-2801

## 山元海岸ヘッドランドにて試験養浜を実施中です！

山元海岸中浜地区では、海岸侵食の防止や消失した砂浜を復元させることを目的とした、試験養浜を進めています。「仙台南部海岸S5号HL整備外工事」にて、今年度の試験養浜を実施し、投入した土砂についてモニタリングをしています。着工前と現在を比較すると、ヘッドランドの根元に砂が定着してきているのがわかります。

本工事をはじめとした海岸事業においては、地域の皆様や関係機関の皆様に、ご理解と、ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

### 着工前



### 現在



▲土砂投入の様子

上の写真の○印の箇所から、土砂を海側に投入したよ！



カイガンマン



▲波の力で砂を広げていきます



▲波ぎわの砂を盛り立てます



▲養浜均し作業の様子



### 養浜の役割について



侵食された海岸に人工的に砂を供給し、砂浜を作ることによって、波の力を弱めます。砂浜ができることで、海岸侵食や波浪のうち上げ（越波）を低減させ、堤防および、その後方の陸地を守ります。

### 養浜工

すばるはこ砂を運んできてすばるはこから砂浜を新たにつくります。



# 火の用心



## 海岸の「火災予防」にご協力ください

海岸や立ち入り禁止のヘッドランドでは、一年をとおして焚き火の痕跡が多くみられます。今の季節は空気が乾燥していて、火の不始末により漂着物などに燃え移りやすく、大きな火災に繋がる恐れがあるので、砂浜やヘッドランド周辺での焚き火は、ご遠慮ください。また、ヘッドランドは波を低減させ、海岸の浸食を防ぐものです。急な高波や滑落などの可能性があり、非常に危険ですので立ち入らないでください。



ブロック上の焚き火跡

▲中浜海岸（R7.1.6撮影）



焚き火に砂を被せた跡

▲笠野海岸（R7.1.6撮影）

仙台湾南部海岸の砂浜周辺には貴重な動植物が生息しています。海浜動植物を守るためにも、海岸の火災予防にご協力をよろしくお願いいたします。

## 仙台湾南部海岸に生息している植物

### テリハノイバラ（照葉野茨）

学名：Rosa luciae

日当たりのよい海岸や河原に自生し、バラ科バラ属のつる性落葉低木です。仙台湾南部海岸では比較的、広範囲に見られます。

直径2cmから3.5cmの白色の5枚の花弁をつけ6月から7月頃にかけて咲き、秋から冬には赤い光沢のある卵球形の果実をつけます。実のように見えるのは実ではなく、花の一部や他の部分が果実状に成長した偽果です。

和名「テリハノイバラ」は、葉が堅く光沢があることから名付けられたそうです。



▲蒲崎海岸撮影



▲テリハノイバラ

▲テリハノイバラの偽果  
笠野海岸撮影